

社会鍼灸学研究 2010 (通巻5号)

テーマ：日本鍼灸の存在意義

目次

- ・序 形井秀一(筑波技術大学保健科学部 教授) i

- ・招待講演
「現代における日本鍼灸の存在意義」
 . . . 矢野 忠(明治国際医療大学鍼灸学部 健康・予防鍼灸学教室) p 1

- ・日本鍼灸を取り巻く情勢 形井秀一(筑波技術大学保健科学部) p 9

- ・伝統医学と生物遺伝資源, 伝統的知識, 文化資源, 知的財産の問題 ー黒船来航! 第3の危機!? 日本の伝統医学を取り巻く現実ー
 . . . 小野直哉(財団法人未来工学研究所 京都大学大学院医学研究科) p 13

- ・日本における鍼灸の歴史ー室町から江戸期にかけての受容と発展についてー
 吉田和裕(東邦大学医療センター大森病院東洋医学科) p 31

- ・例外的医業としての鍼灸 ～近現代の変遷を踏まえて～
箕輪政博(首都大学東京大学院 都市環境科学研究科、筑波技術大学保健科学部) p 53

- ・はり術、きゅう術とは何か ～法律の視点から～
 坂部昌明(森ノ宮医療大学非常勤講師) p 62

- ・討論の部 p 70

- あとがき 箕輪政博 p 84